



設立総会 田村治仁会長(前列右から2人目)

「こころのバリアフリー」をめざして!!

こころのバリアフリーとは全ての人（障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者に至るまでの人）が行動を共に行うことで繋がりをもち、ふれあい・理解し・お互いの可能性を広げていける世界を意味しています。

さらスポーツクラブ

香川県高松市

■設立のきっかけ

H18年夏、香川県内にある障がい者スポーツ団体が集まり、情報交換会を行いました。この情報交換会に出席していた車イスバスケットボール代表の田村治仁さんは健常者・障がい者という壁（バリア）をなくし、共に楽しめるスポーツクラブが必要なのではないかと総合型クラブに関心を持ってくださいました。その後、田村さんを委員長として設立準備がスタートし、話し合いを重ねていく中で色々な分野から賛同者が増えていきました。

■誰もが参加出来るって何？

誰もが楽しめる種目は何なのか？という話し合いから取り入れられたのがふうせんバレーです。ふうせんバレーとは、大型の風船を使ってバドミントンコートで行うバレーボールのことです。風船なので技術は不要ですし、イスに座った状態でもできるということがポイントです。単純明快なルールながら適度な運動にもなるため、老人ホームや介護施設でのリハビリやレクリエーションに用いられるケースも多いそうです。このふうせんバレーは県内のクラブにも広く普及されつつあり、さらスポーツクラブの設立によって、香川県内のクラブも全ての人と一緒に楽しむ方法を考えるきっかけとなっています。そのほかにも、料理教室、手話教室等の定期教室3つと、発見体験ウォーキング、イルカと遊ぼう、また、水分補給、AEDの使い方、チェアエクササイズについての講習会も企画しています。今後も、全ての人を楽しんで参加できる活動や考え方の工夫に期待が高まります。

■クラブ概要

設立年月日:平成21年4月12日

会員数:72名

(男性 25名 女性47名)

(20歳未満 10名 20歳以上 62名)

財源:約170万円

対象人口:約11,276名(鶴尾校区人口)

高松市人口425,260名

所在地:高松市田村町1114番地

電話:087-813-5016

FAX:087-898-4491

E-mail:rsj85896@nifty.com

紫雲山と峰山が響え、地区の中心を御坊川が流れ、多数のため池が存在する農村地帯ですが、高松市中心部に直接隣接しているため、地理的にはベッドタウンと言えます。また近年、大型ショッピングセンターが立地した事などから香川県内屈指の要衝となっています。

■ロゴマークにこめられた想い



「さら」とは香川の方言で「新しい」という意味です。ロゴマークは大人と子どもが手を繋いでいる姿を表しており、ワンポイントでつけている星は希望を表しています。

風船バレーの様子



ウォークラリー・キャンプイベントの様子



■主役はあなた！さらスポーツクラブのYoung power!!

会員管理担当で看護師の濱垣茜さんは、1年前に実施されたキャンプイベントに医療スタッフとして呼ばれたのがきっかけでした。そのキャンプイベントで、さらスポーツクラブの趣旨でもある「障がいや年齢に関係なく、ふれあえる」ということに楽しみを見出し、クラブの運営に携わるようになりました。濱垣さんは以前より、障がい者スポーツのボランティアをされていましたが、クラブ運営はボランティアと違い、みんなと一緒に自分自身も楽しむことができるということが魅力だそうです。今回、濱垣さんが中心となって初めて企画・運営した高松まつり総踊りへの参加は「みんなで楽しむ」をテーマに、地域とのつながりを深めることを目的として実施されました。地区の学校開放のお願いやボランティアの協力を依頼するため、県内の学校へ行ったりと準備は大変でしたが、たくさんの方たちの協力があり、無事成功させることができました。このイベントを通して、改めて人と人とのつながりの大切さや言葉一つ一つ大切さなど、たくさんを学ばれたそうです。最後に、「今回の経験を活かし、みんなが楽しめることをメンバーで考えながら活動を続けていきたい」と意気込みを語ってくれました。

副会長で福祉施設職員の宮崎有加さんは、ある福祉研修に参加した際、田村会長に声をかけられたのがきっかけでした。多種多様な障がいを持った方や、年齢も様々な方がいる中で、どうやって一緒に活動していくのか・・・すごく興味が湧き、仕事とは関係なく運営に携わるようになりました。宮崎さん自身、役員の仕事やクラブ運営など、はじめてのことばかりで手探り状態に不安も感じられたそうです。しかし、「活動を通じてスポーツの楽しさのもとより、お互いを理解し、助け合える環境(心のバリアフリー)を創っていく」という同じ思いを持つ人たちが集まってできたチームワークに支えられ、協力し合って乗り越えられているそうです。また、1つのものを最初から作っていく難しさはあるけれど、自分がしたいイベントを企画・運営できる 多世代・地域交流が図れる 参加してくれた人から感謝の言葉を聞けるという喜びや楽しさがあるから頑張れる！と、魅力を語ってくれました。最後に、「全ての方が安心して参加してもらうために今後もさらに、勉強していきたい」と抱負を述べてくれました。



高松まつりの様子



宮崎 有加さん



浜垣 茜さん

■アドバイザー's eye



障がい者の多くは「本当に安全にスポーツできるのか?」「健常者と一緒に楽しくスポーツできるのか?」といった不安を抱えていて、スポーツがしたくてもできないという方もいらっしゃると思います。こうした不安を取り除き、安心してそれぞれの地域で活動できるように間を取り持ったり、さらスポーツクラブから指導者を派遣したりすることによって、多くの不安は解消でき、スポーツ実施率の向上や、地域コミュニティの形成に大きく貢献できるのではないかと感じています。

また、子どももお年寄りも障がい者もみんな、お互いが思いやりの心を持つこと、それが心のバリアフリーだと思いました。すべての人たちが年齢やレベルを気にせず参加できる活動の輪を広げ、誰もが参加しやすい環境を作っていってほしいと思います。そして、さらスポーツクラブの活動を通して、意識をしなくても自然と心のバリアフリーが実行できる人たちが増えるといいなと思います。

(大山 晶子 香川県クラブ育成アドバイザー)

■おまけ

最後に、香川県には22のクラブが設立しています。休耕田を利用した「ドロンコ運動会」を開催し、泥まみれになってかけっこやビーチバレーを楽しんだり、ニュースポーツの「ミニテニス」や「キンボール」の大会を開催したい...etcとアイデア満載のクラブがたくさんあります。

「やっぱいクラブはええなあ〜!」「おもっしょいわ〜!」という声がたくさん聞こえてきたらいいなと思います。(※香川の方言で「面白い」は「おもっしょい」と言います)全国のみなさん、讃岐うどんを食べに来られた際には是非、クラブにもお立ち寄り下さい!

つながれ! 広がれ!
かがわの総合型地域スポーツクラブの
話! 輪! 和!



(設立順)

1	一ノ谷スポーツクラブ	12	むれスポーツクラブ
2	NPO法人シーガル弦打スポーツクラブ	13	とらまるクラブ"ONLY ONE"
3	NPO法人ELF丸亀	14	琴平サッカークラブ(エスポワール)
4	しるとりスポーツクラブ	15	NPO法人オリーブ
5	ひけたスポーツクラブ	16	さめき三木スポーツクラブ
6	NPO法人スポーツクラブ飯山	17	あい・クラブ
7	ヴィスポことひら	18	かがわスポーツクラブ
8	三豊わくわくふれあい倶楽部	19	弦打スポーツクラブ
9	ふれあい一番地	20	栗林スポーツクラブ
10	香南ししまるスポーツクラブ	21	オリーブ100
11	屋島UROスポーツクラブ	22	さらスポーツクラブ